

《沖縄協同病院の理念》

- 患者様に信頼され、質の高い安全・安心な医療をめざします。
- 人権を尊重し、納得のいく説明と同意、情報開示を提供します。
- 地域と連携し、総合的な医療・福祉・介護の提供に努めます。



沖縄協同病院・病院広報委員会

那覇市古波蔵4丁目10番55号

TEL.(098)853-1200

FAX.(098)853-1212

http://oki-kyo.jp

発行責任者 仲程正哲

シリーズ 病院機能評価受審への取組み②

病院内の点検をしています



部署で点検中の様子

病院機能評価機構から当院が評価されるのは「病院組織の運営と地域における役割」「患者の権利と医療の質および安全の確保」「療養環境と患者サービス」「医療提供の組織と運営」「医療の質と安全のためのケアプロセス」「病院運営管理の合理性」の6つに分類される352項目です。

当院では今年3月より医師をはじめ、事務管理部、看護師長などで構成する受審委員会を立ち上げ、来年の受審に向けて活動を始めました。

まず、受審に向けて職員全体の意識を高めるため、実際の評価員を招き、講演と院内の点検をしていただきました。当院での、整備が遅れていたり改善が必要な箇所がわかり、とても意義のあるものでした。

その後、各部署では実際の評価項目に照らし合わせた自己評価を始め、また、受審委員会でも週一回、一分野ずつ焦点を絞って部署を廻り点検を行っています。

先日行ったのは、整理整頓や清掃状況、室温や照明などの療養環境と患者様の利便性についての点検です。日頃、外来や入院の患者様が利用なさる環境の整備は大変重要な項目ですが、私達が見廻る中で初めて気が付くこともあり、早急に改善しようとの意思統一をしました。

(つづく)

病院機能評価受審委員会 宮平 守



整形外科 佐々木医師の紹介

こんにちは、沖縄協同病院整形外科の佐々木毅志です。出身地は群馬県で、4月からこちらでお世話になっています。

地元の群馬大学を卒業後、今年3月まで群馬県の北部の山間にある利根中央病院という所で働いていました。沖縄に住みたいという強い思いがあり思い切って引っ越してきました。

沖縄は暖かくて食べ物も美味しく最高です。一番好きな食べ物はそばです。

沖縄を満喫しつつ仕事も頑張りたいと思います。

9月から外来を担当します。よろしくお願ひします。

整形外科医 佐々木毅志

病院の活動状況 <7月度>

- ・外来一日平均患者数：714人 (外来延べ患者数÷診療実日数)
- ・入院一日平均患者数：273人 (入院延べ患者数÷暦日数)
- ・組合員利用率：55.0%(前月比±0%)

理学療法

53 リハビリ室

「理学療法 (physical therapy: PT)」とは身体に障害のある者に対し、主としてその基本的動作能力の回復を図るため、治療体操その他の運動を行わせ、及び電気療法やマッサージ、温熱その他の物理的手段を加えることをいいます。

理学療法の中には、大きく分けて、運動療法と物理療法、動作訓練があります。また能力障害が残ったときには、基本的動作や日常生活活動を改善するための指導、そして社会生活を送る上で不利な要素を少なくするため、福祉用具の選定や住宅改修・環境調整、在宅ケア等も含まれます。近年では、生活習慣病の予防、コントロール、障害予防も理学療法の対象です。

当院のリハビリ室では各病棟に担当スタッフを配置しており、担当病棟の代表的な疾患を専門的に学習し日々の業務に取り組んでいます。

脳卒中のリハビリは発症早期から低周波治療器や長下肢装具を使用して積極的な起立・歩行練習などで筋力低下や関節拘縮を予防し、出来るだけ良い状態で次の回復期等へ移って頂くようにしています。

循環器疾患のリハビリでは病棟に専用の心臓リハビリ室を設けて術後も積極的に早期からリハビリを実施し、

CDX(心肺負荷試験装置)を用いて心肺機能の限界を評価してそれを元に安全なリハビリプログラムを指導しています。

内科病棟では様々な内科疾患の患者様が多くおられますが呼吸リハビリを中心として学習・実践しています。また誤嚥性肺炎などで繰り返し入院される患者様も多く、早期離床による排痰促進・廃用症候群(筋萎縮や床づれなど安静状態が長期に続く事によって起こるさまざまな症状)の予防や座位・食事姿勢の指導などによる誤嚥性肺炎の予防に努めています。

整形疾患のリハビリは術前よりリハビリ(疾患に応じて診療の予定を明示し計画に沿って診療する方法)を活用して安全で効率的にリハビリを実施して早期回復・退院を図っています。

リハビリ室 賀数裕規



画：内科医 上原和博

美ら島総体 救護班に行ってきました

皆様もご存じのように全国高校総体が7月28日から本島各地で開催されました。

7月30日に奥武山公園でテニス競技の男子団体戦の予選が行われ、救護班として佐々木先生、澤岬先生とともに参加してきました。

私は午後5時からの参加でしたが到着したころはまだ容赦なく太陽が照りつけており、こんな炎天下でテニスなんて大丈夫かいなど心配でしたが、さすが各県大会を勝ち抜いてきた精鋭達です。テニスの技術はもちろんですが、激しいラリーが続いても全くへこたれないそのスタミナのすごさには恐れ入るばかりでした。



日中はもっと暑くて大変だったようですが、幸い大きなけがをする選手もなく、救護班は一日中開店休業状態でした。できればナイターを活用する等もう少し暑さ対策をしてあげたいところでした。

整形外科医 津田智弘



虹の箱とは患者さまの声を医療活動に反映させていくための投書箱です。

ご意見・ご要望

産婦人科病棟では、出入りに制限があり、病衣をとるためだけに、スタッフに声をかけるのは心苦しい。病棟、シャワー室あたりにでも病衣を置いてほしい。

同じく出入りに制限があるため、洗濯、買い物をするたびにスタッフに声をかけづらく、洗い物をためてからやるのが嫌。自由にやりたい。患者本人には、保証金(5000円)をつけてでもカードを渡してほしい。入院中、拘束されている気分。

個室部屋についているイスは座っていると、おしりが痛くなると、面会の方から言われた。座りやすいイスにしてほしい。

2010年7月12日 4階病棟

ご返事

ご不便をおかけしてすみませんでした。

新生児をお預かりする病棟のため、不審者の出入りが出来ない様、他の病棟よりも厳重に安全管理を行っています。

しかし、入院患者様やご家族へ、不自由をおかけしている事もあり、今後は病衣の置き場所を婦人科側にも設置する様考慮します。セキュリティーカードの配布に関しても検討しています。

部屋に設置しているイスは、部屋での授乳もし易い様に、ソファタイプへ変更する予定です。

4階看護部長 玉城和美



売店向いに虹の箱のご返事を貼り出しています

1万人エイサー祭り に出場

去る8月1日、沖縄医療生協エイサー同好会は、国際通りで開催された1万人エイサー祭りに出場いたしました。参加人数は総勢40人。当日は遠く姫路からの応援もあり、大人数での演舞となりました。

午後3時の国際通り。溶けそうな暑さの中を約1時間かけ1マイルを移動し、沿道の温かい声援を受けて踊りきる事ができました。

その後、とよみ生協病院に移動し、4階病棟と2階病棟で演舞を行いました。患者さんの涙と笑顔は、今までの疲れも吹き飛ばし、他では経験できない医療生協エイサーならではの感動を頂きました。

エイサーシーズンも残り少なくなってきました。踊る方見る方共に毎日の活力となれるよう、エイサーを踊り続けて行きたいと思えます。

沖縄医療生協エイサー同好会
藤村秀一郎



2010年9月1日より外来体制が変わります。

産婦人科外来体制表

H22.9.1~

	月	火	水	木	金	土
午前	古堅善亮	古堅善亮	島袋隆 助産外来 (予約制)	本田志寿恵	島袋隆 助産外来 (予約制)	交代 第1.3.5 比嘉 第2.4 稲福
午後	比嘉裕昭	比嘉裕昭	産後健診 (1、3週)		母乳外来	

《診療開始時間・受付終了時間》

午前 9:00~11:30

午後 14:00~16:00

- 8月2日より予約制の助産外来を始めました。
- 助産外来は医師による診療はありません。



とよみ生協病院 事務課長 金城稲子

しかし、うちより適当なのがナーベラーの名の由来である。まず、和名の「ヘチマ」から。ヘチマは漢字で糸瓜と書くが、その「イトウリ」のイがいつのまにか抜けて「トウリ」となる。トウリのトは「いろは歌」では「へ」と「ち」の間にあるので「へち間」となり、つまりヘチマになったというのである。知ってなければ、京大出のお笑い芸人宇治原でもそこまでは頭が回るまい。

次に方言名(ナーベラー)の由来だが、ヘチマは糸瓜と書くように、成長すると中が繊維質になる。それを本土では垢すりに利用したが、沖縄では鍋を洗うのに使った。そこから「ナーベラーヤー(鍋を洗うもの)」となり、それが訛って「ナーベラー」となったという。

ナーベラーはまさしく「名は体を表す」だが、うちの親はその言葉を知らなかつたんだらうなあ……。

沖縄雑学 Vol.6

私は有馬稲子の全盛時代に生まれたので、稲子と付けたという。妹は浅丘ルリ子のルリ子である。適当に付けたのは女の子が続いたからか。